

防犯カメラ条例 ようやく成立！

市が「防犯カメラ条例」案を準備しながら、ある圧力(?)で葬り去ろうとしていたことに気づき、議会質問したのが昨年12月。その後、紆余曲折を経て、1年遅れのこの9月議会でようやく成立。11月から施行されます。

佐倉市の現状は？

防犯カメラに関しては、現在のところ条例より弱い「要綱」しかありません。市設置のものや、市の補助金を利用した商店街などの防犯カメラは「要綱」の対象になりますが、誰かが独自に道路や公園などの公共空間に向けて取りつけた場合は、野放し状態です。

条例ができるまで

「佐倉市防犯カメラ条例」では、個人のプライバシーが侵害されないよう、市長への届け出、設置の表示、管理責任者、苦情処理への対応などが義務付けられます。既にある防犯カメラも対象となり、県内では4番目の画期的な条例となりました。今後、画像の処理など、データ管理にも注視していきます。



合成洗剤より石けんを！

印旛沼の汚染は「全国ワースト1」。原因の3割は生活排水中の合成界面活性剤です。

環境や健康を壊す！

合成界面活性剤は分解が遅く、下水道処理でも完全には除去できません。また細胞膜を壊すため水生生物への影響も大きく、人間へも皮膚を通して浸透するため、アトピーや主婦湿疹などの原因になります。



子どもたちにはやっぱり石けん！

学校給食調理室では長年石けんを使用してきました。また、大部分の学校等では手洗いに石けんを使用していますが、薬用ハンドソープも併用しています。しかし、薬用ハンドソープの殺菌剤は健康に悪影響を及ぼすため、アメリカでは9月、販売禁止を発表しました。

9月議会で、学校、幼稚園、保育園では合成洗剤を排除し、石けん使用を求めたところ、前向きに取り組んでいくという答弁が得られました。

すぐそこにある貧困

今、一見困っているようには見えなくても、実は病院に行けない、子どもの教材費や給食費が払えない等、「普通の生活」ができない家庭が増えています。

◆子どもの貧困、佐倉市の場合

一定の所得以下の世帯に対し、給食費や学用品、修学旅行費などを補助するのが **就学援助制度**です。利用者は毎年増え続け、2015年度は1013人。

しかし、支給開始が8月以降なので、一番お金が要る入学準備や新学年準備には間に合わず、困っている家庭が多くあります。他市では3月から支給を開始している例もあり、佐倉市には改善を強く求めています。

★市民の力で、子ども食堂や、学習支援の取組みが、佐倉市でも広がっています。



◆病気になっても医者にかかれない！

国民健康保険税を滞納すると保険証を取り上げられ、**資格証明書**が交付されます。医者にかかれば全額自己負担。後から申請すれば7割戻ってくるとは言え、窓口で10割払うのはかなりの負担です。病気になっても医者に行けず、それが重症化につながり、かえって医療費を増大させています。

◆増え続ける資格証明書

佐倉市の2015年度の交付数は557件、交付率は13.4%。県内でも高い方で、毎年増え続けています。県内で一番少ない鎌ヶ谷市は交付数3件、交付率0.1%。なるべく資格証明書を交付せず、分納など滞納者の相談に細やかに応じています。国民健康保険は、組合健保や共済健保に比べ、平均所得が低いにも関わらず、保険料負担率が2倍近く高いため、滞納が増えています。

佐倉市独自の**軽減・減免制度**を強く求めています。

市議会報告会 2地区で開催します。

①10月26日(水) 10:00~11:30

場所: 臼井公民館 2階学習室

②11月6日(日) 14:00~15:30

場所: 西志津ふれあいセンター2階会議室

パワーポイントで、分かりやすいです



甲状腺エコー検診

主催: 甲状腺エコー検診in佐倉実行委員会

11月27日(日) ①10:00~12:30

②13:30~15:30

場所: 生活クラブ虹の街センター佐倉

◆対象者 原発事故当時0歳~18歳のお子様50人

◆要予約 (11月1日から) 申込用紙はネット事務所にあります

後援
佐倉市